

一般質問

議員紹介

就任あいさつ

代表質問

一般質問

常任委員会活動

議決結果



銀杏 泰利
議員



選挙区 鳥取市
会派 公明党

5期目スタートにあたり各種課題を問う

問 ①物価高騰対策は②小児医療費の来年度完全無償化は③津ノ井地区内の通学路安全対策・歩道整備を④入札のコンプライアンス欠如は。

答 ①公明党の要請に基づき予算組みした。その志は今後も変わらない②銀杏議員から問題提起があった。答えを出せて感謝したい③津ノ井駅から津ノ井公民館にかけて、津ノ井交差点右折レーン整備と同時に歩道整備を行う予定④事業者との関係性、コミュニケーションなど課題を認識しながら、ルールづくりを含め対策を進める。



福田 俊史
議員



選挙区 八頭郡
会派 自由民主党

疲弊する中山間地域の再興に向けて

問 中山間地域では人口減少下で買物環境や地域医療など生活機能の維持が喫緊の課題。この窮状を踏まえ八頭や日野など現場の課題には現場での対応が必要で、特に八頭には現場に近いバックアップ体制として地域振興の拠点機能を置くべきではないか。

答 まちおこしで地域を見つめ直し活性化していく運動を更に展開する。県庁組織は既に林業が八頭を中心としているが地域振興機能についても本庁や東部の庁舎と役割分担の見直しを含め新年度に向けて時間を割いて検討したい。

6月定例会では、24人の議員が一般質問を行いました。

本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。

議事録の全文は、県議会ホームページからご覧いただけます。

※掲載に時間がかかる場合があります。



鳥取県議会議事録



会派正式名称

【自由民主党】
鳥取県議会自由民主党

【会派民主】
会派民主

【公明党】
公明党鳥取県議会議員団

答弁者説明

答弁者は、記載のないものは知事（各部長の答弁も含む）。教育長、警察本部長、は知事の部局ではないため、別に表記した。



鳥羽 喜一
議員



選挙区 倉吉市
会派 自由民主党

子育て環境の整備について(医療費と教育)

問 ①小児科クリニックの持続可能性について②中部の高校の定員割れについて③倉吉東バカロレア奨学金について。

答 ①都市部で医師が集中し、中山間地の医師の確保は課題である。医師不足解消のための政策を来年度当初予算に考えていきたい。(教育長)②中部の高校の空洞化を危惧している。中学校と連携しながら地域の中学生や保護者に県立高校の存在意義を伝えられるよう、肝に銘じる③現時点では奨学金創設は難しいが、経済的支援について学校とも協議をしていく。



語堂 正範
議員



選挙区 東伯郡
会派 自由民主党

①堆肥活用の体制を②伸びのびトーク推進

問 ①堆肥舎整備が進んでいる中、肥料高騰で堆肥を活用するための支援・スキームづくりが必要であるがどうか②伸びのびトークは県民が知事と地域の取組や課題等について対話する貴重な機会であるが、どのように進めるのか。

答 ①肥料高の面で生産コスト削減にもなり、グリーン化という点でも大切なこと。県としてしっかり応援する②コロナ禍において実施ができなかった。伸びのびトークをやらせていただく、あるいは別の訪問の機会をぜひつくりたい。



島谷 龍司
議員



選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

スポーツ振興と部活動の地域移行について

問 10年後の2巡目国体に向けて、どのように競技力向上を図ろうとしているのか。

答 県独自にジュニアから世界へ通用する選手育成を図っており、そのためにもスポーツ医科学を含めた戦略が必要であり、合理的、効率的な選手育成体制を考えていく。

問 公立中学校の部活動の地域移行について、国はガイドラインを策定したが、今後どのように進めていくのか。

答 (教育長) 受益者負担、指導者確保など課題があるが、市町村と一緒に地域クラブ化、活動機会の確保を図る。



坂野 経三郎
議員



選挙区 鳥取市
会派 会派民主

**自然共生サイト（※）
婚活イベント・燕趙園**

問 南部町の里山生物多様性プロジェクトが、県内で唯一認定相当となった。如何に自然共生サイトを推進するか。

答 野鳥が多く生息する「オオタカの森」等、県もイニシアチブを取り実践例をつくる。

問 婚活イベントを、どのようにブラッシュアップするか。

答 鳥取青年会議所が実施したカップル成立率75%の「うみやまコン」を目指す。

問 中国河北省との友好交流の象徴、燕趙園を次世代へ。

答 工夫をしながら、県の責務として、未来永劫、一つの記念碑として残す。



河上 定弘
議員



選挙区 米子市
会派 自由民主党

**①水害対策(流域治水)
②医薬品の安定供給**

問 ①水害対策として、流域治水の取組強化が必要。今後の展望は。また、定期的な河床掘削等の維持管理のための予算確保について問う。

問 ②医薬品の供給不足に関して県の認識と対策を問う。

答 ①水害対策として流域治水は重要。上下流で様々なモデル事業を実施し、ビジョン作成を行い、全県的な横展開をしたい。河床掘削、樹木伐採等の有効性は疑いない。国への予算要望と合わせ、事業量の確保を図る②医師会や薬剤師会等と連携し、供給不足が生じない対策を講ずる。



安田 由毅
議員



選挙区 境港市
会派 自由民主党

**弓浜半島の機能軸整備
県税督促状の在り方**

問 ①これからの4年間の米子境港間高規格道路整備促進の決意を②江島大橋東側から旧境水産高校周辺まで肋骨道路を整備すべき③県税督促状に困窮時の相談先を記載するなど県民に寄り添うべき。

答 ①まず凍結解除、さらに計画段階評価、事業化を目指したい②重要な路線であり、いずれ構想されなければならない。高規格道路計画や境港市将来構想とすり合わせて効果的な路線設定を検討する③督促状、催告状、ホームページ上の情報提供の在り方を随時検証し、改良する。



市谷 知子
議員



選挙区 鳥取市
会派 無所属

平和、インボイス、マイナ保険証、こども支援

問 ①自衛隊基地周辺1キロの住民を監視する重要土地等調査法への対応②米軍機低空飛行の国調査は？③最賃引上げ求めよ④インボイス制度の影響調査と中止⑤マイナ保険証運用中止⑥学校給食無償化⑦こども死亡事案への対応。

答 ①我慢強く十分かつ丁寧な説明を要望②日程検討中③国が決定する④中小事業者の実情踏まえた対策を要望⑤求めない⑥国が実態把握し具体策を検討。国の動き見て要望⑦社会福祉審議会児童福祉専門分科会の議論踏まえ検証や公表の是非等必要な対応とる。



内田 隆嗣
議員



選挙区 米子市
会派 自由民主党

鳥取県西部の外環道路について

問 鳥取県西部の外環道路について、新しく1本引く話ではなく、今の道路を有機的に結びつけていくことによって1本の外環道路になるのではないか？（R431→R9→八幡橋→R181岸本バイパス→R180米子バイパス）。

答 日野川の南側について、調査費は計上されていなくとも議場での議論も含めて大いに語り合っていきたいと思いますが、最終的に予算化していくというのは議論の中で順番をつけたり全体の体系を組んでやっていくということになるかと思っています。



前田 伸一
議員



選挙区 鳥取市
会派 公明党

インクルーシブ（包摂する）教育について

問 鳥取県特別支援教育推進計画に記載のある「全ての児童生徒にとって分かりやすいユニバーサルデザインの授業づくり」について教育長の考えを問う。

答（教育長）困難を抱える児童生徒にとって、心地よい人間関係、友達関係がある学級づくりを土台とし、黒板周辺の掲示物のわかりやすい配置等授業に集中しやすい環境作りを行いたい。全ての子どもたちの学びの原点となり、不登校の解消にもつながるユニバーサルデザイン授業の推進を積極的に図りたい。

（※）自然共生サイト…国が認定する「民間等の取組によって生物多様性の保全が図られている区域」のこと。



尾崎 薫
議員



選挙区 鳥取市
会派 会派民主

①ハートフル駐車場
②安全なサイクル道

問 ①現在1歳半までの子ども連れがハートフル駐車場の利用可能。複数の乳幼児や多胎児連れの人は大変。これらの人も利用可能にし、期間も延ばしては？②サイクリングには安全な道路確保が大事。河原方面道路は雑草が茂り、浜坂の橋は段差があり危険だが安全な道路確保の方法は？

答 ①障がい者団体と要相談。ハートフルとは別に「子育て応援駐車場」など子ども真ん中社会を進める②除草作業は毎年する。橋段差、新浜坂橋ルートについて国と協議し安全を確保する。



入江 誠
議員



選挙区 東伯郡
会派 自由民主党

①病児保育の拡充は②
中山間地域空き家対策

問 ①東・西部の圏域との人口差があるとはいえ、中部圏域における病児保育の体制は明らかに不足しており、拡充が不可欠だと考える。

答 ①重要な課題でもあり、県も関係地域に話をしながら中部地区での病児保育の設置については、改善ができるよう向上を図っていく。

問 ②県は市町村が行う管理不全空き家に対する取組支援や利活用を推進すべき。

答 ②管理不全空き家も含めて対策を取れるように、市町村とも協力して円滑な執行を進めていければと考える。



東田 義博
議員



選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

過疎地域の持続・自立
の支援

問 地元住民が主体的に取り組む買物環境づくりの支援を。

答 それぞれの地域で考えたパッケージを買物安心確保事業として応援する。

問 危険木の事前伐採の役割分担やスケジュールは。

答 森林所有者の了解のもとに、できれば台風や降雪期までに電力、通信、県、市町村が連携して伐採する。

問 過疎対策モデル地域制度を創設してはどうか。

答 過疎地域振興のためのモデル的なリーディングプロジェクトを検討する。



前原 茂
議員



選挙区 米子市
会派 公明党

大沢川暗渠管対策について

問 米子市住吉地区で暗渠管が埋設された農地が市街化区域となり、宅地化が進められた。その後、平成12年に発生した鳥取県西部地震により暗渠管付近の49棟の家屋に被害が発生した。このことについて、どのように考えているか。

答 大沢川暗渠に係る被害を受けられた方々に心からおわびを申し上げます。暗渠の受益面積が減っていて、県でこの暗渠を維持する必要性は薄れている。できるだけ早い閉塞に向けて、米子市に十分働きかけをしてまいりたい。



前住 孝行
議員



選挙区 八頭郡
会派 無所属

①情報公開の拡充
②道路管理のIoT化

問 ①市町村の要望を受け、回答したことは県のホームページなど情報公開をすることで、県民を巻き込んだ政策へとつながると考えるが②道路管理のIoT化で、道路の亀裂を数値化するようなシステムを検討しては。

答 ①市町村の意見も伺い、やり取りの資料一式も添付をするような積極的な情報公開レベルに引き上げる検討をしたい②鳥取大学と振動データを基に、道路損傷を測る方策を共同研究中。分かりやすく、効果的な維持管理・補修のシステム形成を図りたい。



山川 智帆
議員



選挙区 米子市
会派 無所属

①米子城跡樹木伐採
②英語教育③薬用植物

問 ①米子城跡の土砂崩れし易い場所で広葉樹（軟弱地盤を補強）を切った為、県が土砂災害を防ぎ人命を守るために適切に善処・対処頂きたい。

答 ①市が説明。ただ絶滅危惧種の適正な保護は県の指導の可能性があり専門家を紹介、方法論等指導を適切に行う。

問 ②英語をしゃべれるようオンライン英会話を全生徒に。

答 ②趣旨に賛同（教育長）話す力を高めるよう努める。

問 ③薬用植物の販売ルートを県が協力・支援できないか。

答 ③販路の開拓・協力して本県が栽培地になるよう展開。

鹿島 功
議員



選挙区 西伯郡
会派 自由民主党

少子高齢化社会における相談対応の充実

問 国は、若年人口が急減する2030年代までに少子化を止めようとしている。本県は子育て王国とっとりとして、成長に合わせた包括支援をしてきた。さらに高齢者など地域の力を活かした婚活や子育ての取り組みを目指しては。

答 国がこども家庭センターを構築しようとする今、県も市町村の受皿をつくり、その支援メニューを今議会に提出した。関係団体とも連携しながら、相談支援機能を成長段階に応じて切れ目なく展開していく。すでに子育てのアプリも3月に完成している。

村上泰二郎
議員



選挙区 西伯郡
会派 会派民主

**①今後の子育て政策
②高速料金の地域差**

問 ①「シン・子育て王国とっとり」の4年後の姿を若者が希望を持てるよう示していただきたい②県内では米子自動車道だけが有料。地域で高速道路が無料と有料で分かれるが、どう考えるか。

答 ①半年ぐらい議論して「シン・子育て王国とっとり」のロードマップをみんなで考えたい。中山間地での保育料無償化などに続く効果のある政策を増やす方向性を考えたい②現状は受け入れざるを得ない。地域間格差と言われないうように利用促進や観光促進などの方策が必要。

興治 英夫
議員



選挙区 倉吉市
会派 会派民主

①買い物環境確保②保育料無償化③PFI事業

問 ①J A系店舗閉店後の、商圈の小さい関金、灘手地区などの店舗継続の初期運営費支援を②少子化対策として、保育料無償化の拡大を③公共事業のPFIについて、対象事業費の引き上げなど、事業者、市町とあり方の再検討を。

答 ①初動の運営費を支援する幅広い考え方が必要かと思う。倉吉市の提案を待ちたい②無償化拡大について、保育士確保の状況を見ながら、市町村と協議する③改善すべきことがあるのでは。現場の状況を把握し、より適切な発注、管理運営に向け検討深める。

浜田 妙子
議員



選挙区 米子市
会派 会派民主

**①巨大風力発電
②フッ化物洗口**

問 ①計画中の西部巨大風力発電に対し、国・事業者は様々な不安を持つ地元や周辺住民への説明責任を果たすべき。②条例に定めるフッ化物洗口は深刻な教師不足で負担感大予防歯科の観点からかかりつけ医推進へのシフトをすべき。

答 ①県の条例に説明責任を定め、また盛土条例で新しい手続を組み込んだ。国には事業許可等地方権限を求めている。事業者にも助言していく②かかりつけ歯科医運動も6割超まで来た。定着を図る(教育長)負担感は十分承知。現場に即し連携努力を重ねる。

中島 規夫
議員



選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

防災・減災、コロナ禍支援、買物環境等確保

問 ①河川の防災・減災対策における県東部の進捗と今後の展望②コロナ禍支援策の現状と課題③買物環境・医療受診環境の現状と課題。

答 ①護岸工事等は17河川で整備率が約56%、河川掘削等が着手率約92%、支え愛マップ等を今後も不断の努力で進める②個々のケースにきめ細かく対応し、生活再建を最重点に取り組む。企業の貸付返済が本格化するため、新ビジネス形態の移行や販路開拓へ寄り添い、順調な企業経営を応援③市町村の事情に柔軟に即した支援策を展開したい。

福浜 隆宏
議員



選挙区 鳥取市
会派 無所属

**①共創で産業に活路を
②工×福連携の構築を**

問 ①台湾TSMC半導体製造のように、自ら設計を行わず受託生産するファウンドリー型ビジネスは、下請け体質から脱却し、都会との賃金格差是正へ繋がる。導入検討を②障がい重い方でも補助工具があれば、出来る作業が増え効率も高まる。工業と作業所の連携を構築し全国波及を。

答 ①開発や投資を1社でやるよりまとめるというビジネス形態は、本県に馴染みやすく主導力もできる。ニッチな得意分野を協業で創るべき時②工と福祉を結べば県外展開もあり得る。支援を検討する。

※平井伸治議員の一般質問は原稿未提出のため掲載していません。